



## 基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した 社会教育の充実

### 【施策項目】

- 27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
- 28 青少年の自立と成長を育む学びの充実
- 29 青少年非行防止への取組の推進
- 30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
- 31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
- 32 社会教育施設機能と読書環境の充実

## 施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

### 現状と課題

家庭教育は、子どもの生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和発達を図る重要な役割を担っています。

これまで千歳市では、保護者を対象とした親の自覚や教育力を高める学習機会、祖父母や地域住民など幅広い世代の人たちを対象とした家庭教育に関する理解を深める学習機会を提供してきました。

千歳市は、人口の転出入が多い特性があり、近年の全国的な核家族化の進展や地域のつながりの希薄化、夫婦共働き世帯やひとり親家庭の増加などにより、以前よりも身近な人から子育てを学ぶ機会や相談・協力が得られにくくなり、保護者が孤立した状態で子育てをする傾向が見られるようになってきています。

このため、家庭教育を担う親としての育ちを支援する学習機会や親子の交流を通じた親の役割を自覚する機会、保護者同士や地域の様々な世代により家庭教育を支え合う環境づくりなど、家庭の教育力を高めるための家庭教育支援を充実することが求められています。

### 施策の概要

家庭教育の役割の理解を深め、家庭教育への参加意識を高める学習や交流の機会の充実と、関係機関との連携や家庭教育を支える人材の育成により地域社会で家庭教育を支える環境づくりに努めます。

### 主な取組及び具体的な内容

| 主な取組   | 具体的な内容   |
|--|--|
| 家庭教育に関する学習機会の提供<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】        | これから親になる世代や保護者を対象に、乳幼児期、学齢期など、子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、親の育ちを支援します。また、保護者のほか地域住民など親以外の世代を対象に、家庭教育の理解を促進する学習機会を提供し、家庭教育を支える意識の向上に努めます。 |
| 親子触れ合い交流事業の実施<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】          | 児童生徒と保護者が学習や体験などを通じて親と子の交流を深め、父親など子どもとの関わりが少なくなりがちな保護者の家庭教育への参加意識の向上に努めます。   |
| 子どもの望ましい生活習慣の定着などに取り組むPTA活動の支援<br>【市教委・市民団体】 | 保護者同士の学び合いや情報交換などを通じて、子どもの望ましい生活習慣の定着など、家庭の教育力向上に向けて取り組むPTAの活動を支援します。  |
| 地域社会で家庭教育を支える人材の育成と活用<br>【市教委・市・市民団体・市民】     | 「子育てサポーター」*など家庭教育を支える人材を育成するとともに、関係機関と連携して地域で親の育ちを支援する環境づくりに努めます。  |

### 目標指標

| 指標の内容   | 現状値     | R12目標値 |
|---|---------|--------|
| 教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合【市教委】 | R1 100% | 100%   |
| 子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数【市教委】                          | R1 16回  | ↗      |

\*子育てサポーター：地域住民などが子育ての先輩の立場で、ボランティアとして保護者に対するアドバイスや子育て交流事業の参加・協力をし、子育てに関する悩みや不安などを抱える保護者の学習活動を支援する人材。

基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実

## 施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

### 現状と課題

青少年期の体験活動は、コミュニケーション能力や自立心、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、他者と協働する能力などの社会を生き抜く力や、規範意識、道徳心などを身に付ける子どもたちの成長にとって重要なものです。

これまで千歳市では、教育委員会や公益財団法人千歳青少年教育財団が実施する教育事業をはじめ、大学生や市民活動団体が実施する各種イベントなどを通じて様々な体験活動の場が提供されてきました。また、これらの情報は、青少年向け事業情報紙「マナビィ」などにより提供され、多くの青少年が活動に参加しています。

近年は、こうした青少年の各種活動を支えてきた人材や団体が減少傾向にあり、子どもたちが普段から身近な環境で、自然体験や科学探究活動などの本物に触れる体験活動が難しくなる状況にあります。

このため、子どもたちの身近な地域でできる様々な体験活動の機会を充実し、地域社会全体で青少年の豊かな心やたくましく生きる力を育む取組を推進することが求められています。

### 施策の概要

地域の人材や関係団体との連携により、青少年の自立と成長を育む体験活動の機会や情報提供の充実に努めます。

### 主な取組及び具体的な内容

| 主な取組                                       | 具体的な内容  |
|--|---|
| 青少年の体験活動機会の充実<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】        | (公財)千歳青少年教育財団などの関係団体と連携して、自然体験、社会体験、科学探究活動、リーダー養成、姉妹都市交流などの各種体験活動の機会充実に努めます。    |
| 青少年の体験活動情報の提供<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】        | 市内で行われる様々な体験活動の情報収集を行い、事業情報紙「マナビィ」や「少年団体一覧表」などを発行して小中学生などに情報提供し、体験活動への参加を促進します。 |
| 青少年の体験活動を支える人材の育成・活用と連携<br>【市教委・市・市民団体・市民】 | 子どもたちの体験活動を支える人材の育成と活用を進めるとともに、関係機関との連携を通じて子どもたちが身近な地域で各種体験活動ができる環境づくりに努めます。    |

### 目標指標

| 指標の内容  | 現状値     | R12目標値 |
|--|---------|--------|
| 教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合【市教委】 | R1 -    | 80%以上  |
| 「マナビィ」や「少年団体一覧表」など、教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数【市教委】              | R1 294件 | 294件以上 |
| ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数【市教委】                      | R1 365人 | 400人以上 |

## 施策項目29 青少年非行防止への取組の推進

### 現状と課題

未来を担う青少年が心豊かにたくましく成長することは市民すべての願いであり、非行や被害を助長する有害な環境の浄化や指導の必要性を認識し、青少年を見守り支えていくことが重要です。

これまで千歳市では、青少年の非行防止・健全育成のため、警察や関係団体などと連携し、巡回指導や少年相談、各種啓発活動など様々な対策を講じてきました。

近年、警察に検挙・補導される子どもは減少傾向にあるものの、青少年を巻き込んだ犯罪は後を絶たず、非行の低年齢化も危惧されています。また、スマートフォンやSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）をはじめとする新たな機器・サービスが急速に浸透し、青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中で、SNSなどの利用に起因するトラブルが増えている状況となっています。

このため、青少年非行など問題行動の背景や要因に対し、学校、家庭、地域及び関係機関と連携し、青少年の規範意識の醸成及び有害環境への適切な対応を図りながら、非行防止のための巡回指導や啓発活動の継続実施と、非行・問題行動に悩んでいる親や悩みを抱えている青少年に対する適切な助言・支援ができる相談窓口体制の充実など、青少年の非行及び被害防止への取組を推進することが求められています。

### 施策の概要

青少年の健全育成に対する意識啓発を行うほか、学校、家庭、地域及び関係機関・団体と連携し、青少年非行防止への取組を推進します。

### 主な取組及び具体的な内容

| 主な取組                        | 具体的な内容  |
|-----------------------------|---|
| 「青少年指導センター」巡回指導の実施<br>【市教委】 | 青少年の健全育成を進めるため、巡回指導を通じて児童生徒など青少年の問題行動の未然防止に努めます。  |
| 育成相談の実施<br>【市教委】            | 問題行動などで悩んでいる親や、悩みを抱えている青少年に対し、適切な助言・支援が行えるよう相談体制の充実に努めます。   |
| ネットパトロールの実施<br>【学校・市教委】     | 児童生徒がインターネットなどを利用して行うコミュニケーション活動において、不適切な利用によりいじめや犯罪などのトラブルに発展しないよう、ネットコミュニケーション <sup>*</sup> を見守る取組を推進します。 |

### 目標指標

| 指標の内容        | 現状値    | R12目標値 |
|--------------|--------|--------|
| 青少年指導件数【市教委】 | R1 96人 | 68人以下  |

<sup>\*</sup>ネットコミュニケーション：インターネットを介して気持・意見などを相手に伝えること。

基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実

施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

現状と課題

成人期は、社会人としての生活スタイルが安定し、個人の主体的な活動が可能となり、自己実現につながる学習や地域活動に関わることができる時期です。また、高齢期は、仕事中心から家庭や地域社会中心の生活へと移り、培ってきた知識や経験をもとに社会貢献活動や地域活動に参加し、学びと実践を繰り返しつつ、自己実現や生きがい創出をしていくことができる時期です。

これまで千歳市では、市民生活の向上に向けた学習機会や高齢期を生きがいのある人生として送るための学習機会を提供してきました。

人生100年時代を迎え、社会状況が激しく変化する中、これからの社会では、生涯の様々なステージで必要となる能力を身に付け、障がいのある人などを含め他者と協働して新しいことに挑戦することで生活を改善し、一人ひとりが生涯にわたって活躍していくことがますます重要になっています。

このため、社会の変化に対応する力を身に付け、人生の各期において学習を通じて得られた知識や経験を生かして、誰もが豊かな人生を送ることができる学習機会を充実することが求められています。

施策の概要

社会の変化による生活上の課題に対応する力を高め、仲間とつながりながら意欲的に学び、地域活動への参加意欲を高める学習機会の充実に努めます。

主な取組及び具体的な内容

| 主な取組                                   | 具体的な内容  |
|--|---|
| はたちのつどい事業の実施<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】     | 人生の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高める契機となるよう関連行事を実施します。新成人の企画などを導入し、青年層の地域活動の担い手づくりに努めます。 |
| 生活課題に対応する学習機会の提供<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】 | 変化の激しい社会を生きていくために必要な市民の健康や安全などの生活課題に対応した学習機会の提供に努めます。   |
| 高齢者学級開催事業の実施<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】     | 高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造するため、郷土の理解を深め、知識や経験を生かし、仲間とつながりながら地域社会で活躍することができる学習機会の提供に努めます。                 |

目標指標

| 指標の内容   | 現状値    | R12目標値 |
|---|--------|--------|
| 教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合<br>【市教委】   | R1 77% | 77%以上  |
| 高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合<br>【市教委】 | R1 -   | 70%以上  |

## 施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

### 現状と課題

私たちが暮らす千歳の魅力を高め、「ここに住んでよかった」と思えるまちとなるためには、市民一人ひとりが学びや体験を通して郷土の魅力を実感し、地域への愛着と誇りを持つことで地域づくりへの参加意欲を高め、地域社会の一員としてほかの人たちと連携・協働しながら自ら地域の魅力向上や課題解決などの活動に参加していくことが重要です。

これまで千歳市では、市の関連部局や市民活動団体などにより、市民や転入者を対象に、千歳の魅力の理解を深める講座やガイドツアー、地域課題に関する学習会などを実施しています。

人口移動の多い千歳市では、全国各地から様々な人々が転入し、様々な交流や文化が生まれる素地があります。こうした市民の力をまちづくりに生かしていくために、学びを通じた市民との地域の魅力や課題、将来像の共有や市民によるまちづくり活動の実践がより一層重要になっています。

このため、地域への愛着と誇りを育むふるさと千歳の理解を深める学習をはじめ、社会の変化に伴い生じる現代的・社会的課題※に対応する学習、さらには少子高齢化の進展などに伴う地域が直面する課題の解決や地域活性化に役立つ学習の機会を充実することが求められています。

### 施策の概要

関係機関との連携により、千歳の理解を深める学習機会と、地域づくりにつながる地域課題や現代的課題に対応した学習機会の充実に努めます。

### 主な取組及び具体的な内容

| 主な取組                                       | 具体的な内容   |
|--|--|
| ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】 | 地域に対する愛着と誇りを育み、地域の担い手づくりにつながる地域の人材や素材を活用した学習機会の提供に努めます。                              |
| 地域課題解決学習の推進<br>【市教委・市・市民団体・市民・企業】          | 地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき課題とその対応を学習し、成果を地域づくりの実践につなげる地域課題に対応した学習機会の提供に努めます。 |

### 目標指標

| 指標の内容  | 現状値 | R12目標値 |
|--|-----|--------|
| 教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合<br>【市教委】             | R1  | 70%以上  |
| 教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合<br>【市教委】 | R1  | 70%以上  |

※現代的・社会的課題：男女共同参画、人権、環境保全、消費生活、食、防災・安全など様々な社会の急激な変化に対応して人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題。

基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実

施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

現状と課題

社会教育施設は、学習手法や学習領域などにおける豊富な蓄積と貴重な教育財産を有し、人が育ち、人がつながる地域における社会教育の拠点としての機能があります。これまで千歳市では、市民の社会教育活動の場として、公民館※や図書館※、青少年会館※のほか、公民館機能を有する市民文化センターなどを整備するとともに、子どもや高齢者などの読書活動を支援し、読書環境の充実に努めてきました。

近年、家族形態の変容やライフスタイルの多様化など社会状況の変化が進む中、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じた学習機会の場として、公民館が地域の学習・活動の拠点となり、市民の主体的な学びを支援していくことが重要になっています。また、図書館においては、個人のスキルアップの支援や地域活動に役立つレファレンス機能※の充実など、情報拠点としての役割強化が重要となっています。一方、施設の多くは、設置から30年以上が経過し、設備の老朽化が進んでおり、利用者が安全で快適に利用できるよう施設の大規模改修が必要となっています。

このため、市民ニーズに対応した社会教育の場として、公民館や図書館をはじめとする社会教育施設の機能充実とともに、読書の楽しみを知り、読書を習慣化できる環境を整備することが求められています。

施策の概要

誰もが安全で快適に利用でき、社会の変化や市民の多様なニーズに対応した社会教育の場として公民館や図書館などの社会教育施設の機能の充実と子どもから大人まであらゆる世代の市民が読書に親しめる環境づくりに努めます。

主な取組及び具体的な内容

| 主な取組                                      | 具体的な内容  |
|---|---|
| 市民ニーズを反映した安全で快適に利用できる施設の整備<br>【市教委・指定管理者】 | 社会教育施設に関する多様なニーズの把握に努め、誰もが安全で快適に利用できるよう施設のユニバーサルデザイン化※をはじめとした施設・設備の計画的な更新・改修を行い、社会教育施設の機能充実に努めます。 |
| 公民館教室の実施<br>【市教委・指定管理者】                   | 公民館の集い、学び、結ぶ機能を生かして、市民の教養の向上や健康の増進など、生活文化の振興や社会福祉の増進に役立つ短期・長期の公民館教室の充実に努めます。                      |
| 市民の誰もが親しめる読書環境の充実<br>【市教委・指定管理者・市民団体】     | 図書の実用性を高め、移動図書館車、検索サービスなど図書館機能の整備やおはなし会、ブックスタートにより、子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめる読書環境の充実に努めます。              |

目標指標

| 指標の内容   | 現状値    | R12目標値 |
|---|--------|--------|
| 公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合【市教委】 | R1 83% | 85%以上  |
| 図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件数【市教委】                   | R1 12件 | 10件以下  |
| 図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合【市教委】        | R1 94% | 94%以上  |

※公民館：住民の生活文化の振興と社会福祉の増進を目的に設置し、講座や講演会、展示会などを行っている。  
 ※図書館：図書・記録・その他資料を収集・整理・保存し、図書の貸出しや読書会、情報提供サービスなどを行っている。  
 ※青少年会館：青少年の心身の健全な発達と地域の青少年活動の振興を目的に設置し、青少年団体などに利用されている。  
 ※レファレンス機能：図書館員が図書館利用者の求める学習・研究・調査を目的とした情報や資料の収集を助ける業務。  
 ※ユニバーサルデザイン化：文化・言語・国籍や年齢・性別などの違い、能力などにかかわらず、出来るだけ多くの人が利用できることを目指した設備や製品、情報などの設計のこと。

